



JAPAN AIRLINES



JAPAN AIR COMMUTER

2021年3月19日

日本航空株式会社

日本エアコミューター株式会社

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産登録

応援デカール機が就航します

～JACは奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の

世界自然遺産登録を応援しています～

JALグループの日本エアコミューター(以下、「JAC」)は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録に向けた活動への取り組みとして、応援メッセージを施したデカール機(ATR42-600型機)を就航させます。デカールには、応援メッセージのほか、環境省那覇自然環境事務所が制作されたロゴマークも描かれています。

JACの応援デカール機は3月20日より、奄美群島や沖縄本島などのJACの運航する全路線に就航し、世界自然遺産登録に向けた機運醸成、そして奄美群島・沖縄のさらなる交流人口の拡大に努めてまいります。

記

特別機の概要

- 機材：ATR42-600型機
- 就航空港：鹿児島、種子島、屋久島、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部、与論、沖縄など
JAC就航全15空港



この取り組みは、鹿児島県と連携し、「奄美群島航空・航路運賃軽減協議会」の協力のもと実施しています。JALグループはこれからも、奄美群島や沖縄の魅力・価値を高め、地域の持続的な発展に貢献してまいります。